

大村市政だより

人口の動き

| (4月末日現在) | | 前月比 |
|----------|--------|--------|
| 人口 | 56,066 | 107 |
| 男 | 27,002 | 39 |
| 女 | 29,064 | 68 |
| 世帯数 | 13,579 | 39 |
| 出生 | 81 | 転入 740 |
| 死亡 | 24 | 転出 690 |

□昭和33年4月22日第三種郵便物認可 □毎月3回1日・10日・20日発行 □定価1部5円
 □発行所 大村市役所 □編集人 総務課長 菊池綱昌 □印刷所 隆文社印刷所



長崎国体を明年にひかえ、スポーツ少年を中心として、スポーツの振興、体力づくり、スポーツの生活化が大切なときです。

大村市のスポーツ少年団も、新たな希望の光の中に誕生してすでに6年たちま

写真=5月6日行なわれた少年スポーツ大会で長崎国体を成功させよう。と市中行進する少年団。

した。明年の国体は最大のチャンスです少年の力で長崎国体を成功させよう。

きれいな水道ゆたかな生活

第10回全国水道週間

水は、私たちの生活になくてはならないものです。この水をはこぶ水道は、市民の健康を守り、いろいろの産業をおこし、消防に役立ち、社会生活のささえとなっています。

この水道をよく市民みなさんに知っていただき、また、水道を使用していない家庭には1日も早く衛生的な水道を使っていただくため、6月1日から7日まで全国水道週間が行なわれます。

市民のみなさんに市の水道を知っていただくため、坂口の浄水場を開放します。坂口バ

ス停留所から歩いて5分の見はらしのいいところ。家族づれでお出かけください。

(このまじりに)

事務改善で市民を待たせない窓口

市民窓口行政

最も市民とのつながりのある窓口の事務の改善を数年来行っていますが

本年度は年令を対象として住民個人カードを設定して年度中に切りかえることを目標にしています
昭和四十四年度には更に要件項目を含めた住民個人カードを設定して現在

各関係担当課で使用して

いる台帳方式を廃止し、なるべく早い時期に電子的機械化を採用することによって画期的な事務改善の域に進みたいと考えています。

また、戸籍、住民票、印かん証明などの交付申請についてはますます増加する傾向にありますので一層その処理を適正かつ迅速に行なうよう努力しています。なお再製し

なければならぬ戸籍のうち、本年度は約七百戸を再製するように計画を立てています。

に伴ない生活環境が著しく高度化され、とくに石油製品などの需用は驚異的に日常生活の中に浸透

また一方車輛の急増による交通事故や労働災害などによる事故も多く発生し救急業務も消防行政の中に大きな業務となっ

火災原因の主となるものについては予防査察を行ない、事故発生の原因を食止めるよう従来より更に嚴重に指導したいと考えています。

昭和43年度施政方針

事業別の計画

⑥

市民の安全のため

万全の態勢を

消防署

産業経済の著しい成長

生じている現状であります。このため爆発火災や有毒ガスによる災害のため死傷者を出す悲惨な事故が相次いで発生しています。

とくに危険物の取扱いや文化生活の中に入りますます火器の取扱いなど

ことには昭和四十四年度には長崎国体が開かれるため、市民一人一人に火災予防に対する認識と理解を深めることが必要であると考えます。

(このつづきは次号です)

発熱、はきけのときは

早く医師の診断を

無菌性髄膜炎について

市立病院 早田内科医長

昭和四十年と四十二年の夏に無菌性髄膜炎が流行し、今年も流行するのではないかと考えられます。

髄膜炎は昔は脳膜炎といっていました。この病気の原因はいろいろありますが、その中で最も多

は発熱(38〜39)頭痛(乳幼児では頭痛という訴えがないので注意)吐き気、嘔吐でこのほかに腹痛、下痢、咽頭痛、発熱、頸部リンパ腺腫脹がみられることもあります。

感染によることが多いので、患者が発生した場合には幼弱な者や、病弱者はなるべく近よらないようにすること。手洗いの励行、便所の消毒、食物の衛生管理を徹底する

とともに、家の内外の清掃を十分に行ない、ネズミ、ハエ、ゴキブリの駆除を行なうこと、またビールスの種類によっては飛沫感染も考えられるので「ウガイ」をすることも大切です。

市消防団に寄附

市内陰平郷の丸田マスエさんは、亡父留美さん(元消防団部長)の忌日に金一封を大村市消防団に寄附されました。

忌日に寄附

市内木場郷尾追マキさんは亡夫時吉さんの忌日に、また、市内上杭出津百本照代さんは亡夫義信さんの忌日にそれぞれ金一封を寄附されました。

十勝沖地震義援金の受付

十勝沖地震義援金を市社会福祉協議会内の善意銀行で受付けています。

サイレン吹鳴

水防くんれんのためのサイレンを鳴らします。

火災とまちがえないようにしてください

▽日時 六月八日 午前六時

市民税の負担を軽く

= 市民税の諸控除額を引上げ =

昭和43年度の市県民税の令書が近く手許にとどけられますが、市民税の負担を軽くするため、別表のとおり控除額が引上げられています。この結果、①夫婦と子供3人の5人家族の場合532,040円(前年は433,525円)以下は非課税。②4人家族で年収750,000円の場合、前年は市民税=12,070円。ことしは=8,450円で3,620円安くなることになります。

| | 43年度 | 42年度 |
|-----------------------|--|---------------------|
| 基礎控除 | 110,000円 | 100,000円 |
| 配偶者控除 | 90,000円 | 80,000円 |
| 扶養控除 | 配偶者が不在の場合の1人目の扶養親族 80,000円 (その他の扶養親族) 50,000円 | 70,000円 40,000円 |
| 専従者控除 | (青色専従者給付額の限度額) 170,000円 (事業専従者控除額) 110,000円 | 120,000円 80,000円 |
| 障害者・老年者 か 婦・勤労学生控除 | 60,000円 | 1,000円の 税額控除 |
| 特別障害者控除 | 80,000円 | — |
| 小規模企業共済 掛金控除 | 支払った額 | — |
| 生命保険料控除 | 25,000円 | 22,500円 |

※配偶者の適用範囲を100,000円(前年50,000円)に。

※児童福祉法による里子を扶養親族の範囲に。

※障害者、未成年者、老令者の非課税の範囲を280,000円(前年260,000円)に。

か、生活扶助を受けているなどとしていて、保険料を納めることができない人は、保険料免除申請を6月10日までに出張所または保険年金課でおこなってください。申請のときは、年金手帳と印かんを持ってきてください。

旧軍人・軍属の加算恩給請求手続を早く
旧軍人・準軍人・軍属(判任官以上)の加算恩給請求期限が近まりましたので、まだ請求手続がすすんでいないかたは市福祉事務所ですべて
してください。

おしらせコーナー

昭和44年歌会始
詠進は10月10日まで

昭和44年歌会始のお題は「星」と定められました。星は天然の星に限られません。天の川も星の群ですから歌の中に題材として使っても結構です。

③書式は半紙を横に二つ折りにして、右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、職業を書くこと。

①一人一首限りとし、未発表の歌であること。
②詠進の用紙は半紙白紙一枚を用い毛筆で自筆

市の総務課におたずねください。

図書館の休館
今まで大村駅前の市民会館内にあった公民館と図書館が、玖島中学校旧大村校舎に移転します。この移転準備のため大変ご迷惑を掛けますが、つきのとおり休館しています。

▽期間 五月二十六日から六月二十四日まで
〔移転後の電話番号〕
▽公民館 四三二一
▽図書館 二四五七

モーターボートの
新人選手を募集

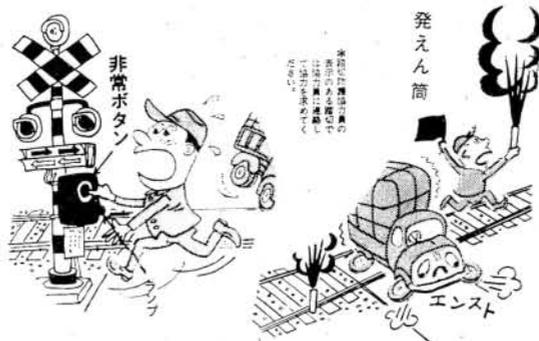
▽応募資格
①高等学校卒業程度の学力を有し、年令十八才以上二十五才未満の男女
②視力は一、〇以上、体重は五十五キロ程度
▽募集締切 七月二十日
なお、くわしいことは大村市役所事業課へおたずねください。

国民年金の免除申請は6月10日までに
失業して所得がないと

鉄道の事故をなくそう

踏切でエンコしたら

まず 列車に合図しよう



注意
踏切で列車と衝突する危険があります。必ず列車に合図をしよう。

長崎国体50日前大会

炬火リレーに声援を

長崎国体の開催日まであと五百日となりました。これを記念して、県民のリレーが、市内を通り総参加大会が長崎市で行

によつてはこばれますので、沿道のみなさんのご声援をお願いします。

▽コース 国道34号線

▽日時 松原↓市役所前

六月八日 午後五時から六時三十分まで

市役所前↓鈴田峠

六月九日 午前九時三十分から十時三十分まで

炬火台の図案を募集

長崎国体の開会式閉会式会場に取りつけられる

炬火台の設計図案をつぎのとおり募集しています

▽応募資格 県内居住者で年齢性別は問いません。

▽応募期限 六月三十日

▽作品規格

①国際県ながさきのスポーツ振興と、明朗、積極、創造をモットにする長崎国体を簡潔に表わすもの。

②外型でデザイン正面図側面図、姿図を表示すること。

③色彩、材質は自由

④高さ2〜2.5メートル

縦横 2メートル程度 重さ 2トン以内

▽送付先 長崎市江戸町 県庁内 長崎国体事務局 局総務部

なお、くわしいことは大村市役所国体事務局におたずねください。

山岳の写真展

長崎国体の大村会場では山岳がおこなわれますが、この山岳種目を市民みなさんに理解していただくため、つぎのとおり「山の写真展」をおこないます。

▽期日 六月十三日から十八日まで

▽場所 西沢デパート

国体「近づく」 長崎国体

昭和44年の長崎国体まで約五百日。この長崎国体では大村市でもラグビー、ソフトボール、山岳の三種目がおこなわれ、国体をめざした大村会場の準備も着々と進められています。しかし、いかに施設がrippにできて市民みんなが国体開催の持つ意義を十分認識しなければ真の意味での国体の成功は考えられません。こうした意味から国体をよりよく理解し、意義あるものとするため「国体」近づくのコーナを新設しました。

国体とは、ごぞんじの界大戦でうちひしがれたように「国民体育大会」国民をスポーツを通しての略称で、国民こそって明るさと自信、明日を毎年ひらかれている総合する意欲を高めさせようスポーツ大会のことですと始められたものです。最初におこなわれたの 国民体育大会の開催基は昭和21年で、第二次世 準要項では、国体の意義

開かれるのが原則です。しかし、冬季大会と夏季大会は地理的気候条件から同一県で開催することが困難なときは他の都道府県で開催することがあります。

国体は、財団法人日本体育協会、文部省、開催地都道府県の共催で毎年開催され、大会は冬季、夏季、秋季の三期に分かれており同じ都道府県で開かれるのが原則です。

国体でつくる大村市

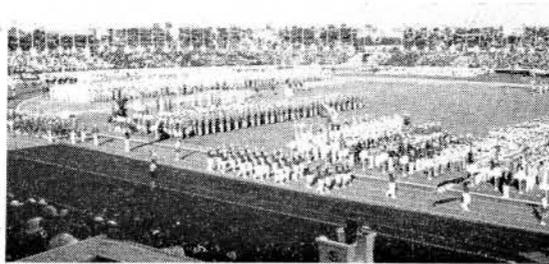


写真 大分国体入場式